

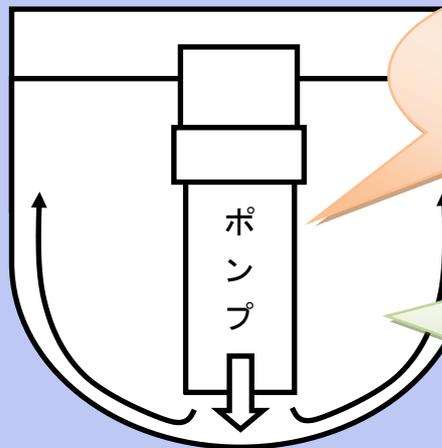


### 養殖魚類の飼育水循環流動システム

キーワード マグロ類、ブリ類、ハタ類、魚類仔魚、種苗生産、沈降死、循環飼育

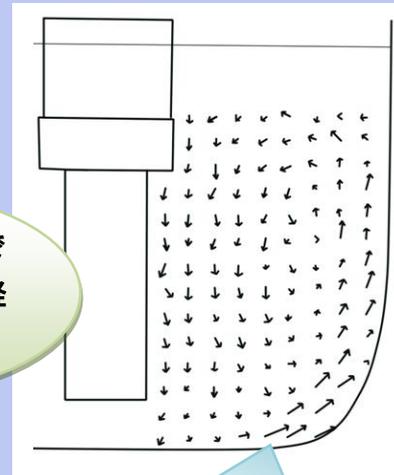
研究内容の概要 : マグロ類、ブリ類、ハタ類等の高級養殖魚の仔魚が、初期飼育過程で水槽の底に沈んで死んでしまう現象を効果的に減らします。

難種苗生産魚の大量生産が可能



水槽形状と循環システム: 誰でも飼育できる

超高密度でも飼育できるので光熱費が軽減できて経済的



底面付近の早い流れ: 仔魚が底に沈まない

マグロ類, ブリ類, ハタ類, 異体類にも利用

特長／効果

- 従来の方法では、マグロ類、ブリ類、ハタ類等の仔魚が沈んで死ぬ。
- これらの魚種の沈降死を減らし、生産効率を飛躍的に改善する。
- 高級種苗の大量生産が可能になる。

利用／用途

- 高級魚類の大量種苗生産ができ、天然資源の減少も食い止める。
- 飼育の難しかった様々な魚種に使える。
- 技術者の経験に頼らず飼育・管理できる。
- 高密度飼育が可能で光熱費も節約できる。

知的財産権等情報

特許出願	特開 2010-215082
論文等	1編

農学部 水産学科 石橋 泰典

URL: <https://www.kindai.ac.jp/agriculture/>

連絡先: 近畿大学 リエゾンセンター(KLC)

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1

E-mail: [klc@kindai.ac.jp](mailto:klc@kindai.ac.jp)

TEL:06-4307-3099 FAX:06-6721-2356

URL: <http://www.kindai.ac.jp/liaison>